



にじ組ではリレーが盛り上がり、チームとして思いを合わせる中で、様々な葛藤や成長が見られます。今回は友だちと気持ちを伝え合う中で、自分と友だちの気持ちの違いに気づき、自分の気持ちに折り合いを付けるE君と、友だちに受け止めてもらうことで自信を得たRちゃんの姿をお伝えしたいと思います。

Eくんの葛藤

この日、青チームは一人お休みの子がいました。その為、リレーでは他のチームと人数を合わせるために誰かが2回走ることになりました。その話し合いで、「2回走りたい」と自分の意見を伝えたE君。しかし、チームの思いはE君の思いと違いました。友だちと意見がすれ違う中で、自分の思いとチームの思いに葛藤するE君の姿をお伝えします。

9月4日「友だちの思いと自分の気持ちのすれ違いの中で」

E君「僕、2回走りたい」

Aちゃん「H君、2回走った方がいいと思う。だってH君足速いし、H君走ったら勝てるもん」

E君「...。でも、僕2回走りたいもん。じゃんけんしよう」

保育者...Aちゃんはチームの勝利を考え、提案してくれたんだな～。でも、E君の2回走りたいという意欲もとても素敵だな～。

Rちゃん「Rも、H君がいいと思う。勝ちたいもん」

保育者...勝ちたいという気持ちもよくわかるな。でも、E君、意欲を見せてくれているのにみんなに反対されて、ちょっと残念そう...。でも、勝つためにはチームの思いを受け止めることも大切になってくるな～。今回はE君が走ってみて、またみんなで話し合ってみてもいいのかも。

保育者「でも、E君は走ることが好きだし一生懸命2回走りたいんだよね。」

E君「僕、勝たなくてもいいし2回走りたい」

すると、チームの子たちはとても悲しい表情になってしまいました。

保育者...E君、勝たなくてもいいって思っていないはず。きっと、みんなとの話し合いで思いが上手く伝わらず思わず言ってしまったんだろうな...。

青チームの子たち「E君、勝ちたくないん？」

「私、勝ちたいし、そんなん言われたら悲しい気持ちになるやん...。」

そんなチームメイトの表情を見たE君。ちょっと言葉を間違えたと思ったようで

E君「...。僕1回でいいよ。勝ちたいし。」と話しました。

1位になれたのはみんなのおかげ

この日、青チームは見事に勝利を果たすことが出来ました。1位になりとても嬉しそうなEくん。1位になったことを喜ぶ青チームの子たちは「H君、ありがとう」とH君の活躍をたたえていました。そこで、保育者が「1位になれたのってH君だけのおかげかな？」と問うと「うん！」と嬉しそうに答える青チームの子たち。そこで、保育者が「H君はもちろん速かったけど、H君だけじゃなく、みんなの頑張りで1位になれたんだよ。それにE君、チームが勝つようになって2回走することを譲ってくれたよね。そのE君の優しい気持ちもチームの勝利に繋がっていないかな？」と声をかけると、「はっ」と気づいた表情を見せる青チームの子どもたち。「本当や。」「E君、ありがとう」とE君に感謝の言葉を伝えていました。

9月5日「E君のチームとしての思い」

そして、その勝利の次の日。この日、青チームはH君がお休みでした。そこで、誰が2回走るか話し合いになるとE君の他にも2回走りたいという子が2人。

この日はじゃんけん決めてことになりHちゃんが2回走ることになりました。

ジャンケンで決めたという事で2回走れないことを受け入れていたE君。

しかし、この日は惜しくも3位になってしまいました。1位になれず、悔しくて涙を流すHちゃん。すると、E君はそばに駆け寄りHちゃんの頭を撫で始めました。言葉を掛けることはありませんでしたが、何度も何度も頭を撫でるE君。本当は2回、走りたいと思います。負けて悔しかったと思います。しかし、そんな気持ちの中でも一生懸命チームメイトの頭を撫でて励まそうとするE君の姿に、私たち職員もとても胸が熱くなりました。



Rちゃんの気持ちの変化

走ることに不安があったRちゃん。しかし、勝ちたいという思いを持つことで必死に練習をしたり、友だちに思いを受け入れてもらったりする中で自信を得ることが出来ました。そんなRちゃんとチームメイトが温かく受け入れる場面をお伝えします。

Rちゃんはチーム内での話し合いでは、聞き役になることが多く、自分から意見を話すことがあまりありませんでした。リレーでも、バトンを落としたり転んでしまったりすることを恐れる不安そうな姿が見られました。そんなある日、リレーで負けることが続くとRちゃんは悔しさがあふれ、大きな声で泣きだしてしまいました。なかなか勝てないことがとても悔しかったのだと思います。その日を境に、Rちゃんは、勝ちたいという思いが強くなり、一人でコースを走ったりラダーをしたりと特訓をするようになりました。そんな努力の甲斐があつてか、Rちゃんの走りは日に日に速くなっていきました。自分自身の変化に気づいたようで、走り方から自信が見られるようになりました。

そんなある日、チーム内でリレーの作戦会議をすると、Rちゃんが真っ先に「R、2回走りたい！」と話しました。

Rちゃんが2回走りたいって言うてる！すごい意欲の変化！！(保育者の心の中の喜び)

突然のRちゃんの発言に驚いた様子のチームメイトたち。みんなで話し合い、その日はRちゃんが2回走ることになりました。チームメイトに気持ちを受け入れてもらい、とても嬉しそうに思わず涙が出てしまったRちゃん。その日のリレーでは、今まで見たことがない走りを見せてくれました。がむしゃらという言葉がぴったりな姿でした。きっと、チームメイトに気持ちを受け入れてもらい、背中を押してもらえたことで、Rちゃん自身も「絶対に自分がチームを勝利に導く！」と感じていたのだと思います。Rちゃんにとって、この日の出来事は大きな自信へとつながったと思います



追加♡

昨日のリレーで、青チームに欠員が出てしまいました。すると、青チームの子たちからは「E君、2回走っていないんじゃない？」「いつも譲ってくれていたし、今日はE君2回走ったら？」という提案がありました。その提案に対し、反対をする子は誰一人いませんでした。E君のチームを思う気持ちが、しっかりと周りのお友だちにも届いていたのですね。

このように、運動会に向けた活動の中で、友だちと絆を深めることで、互いの思いに寄り添ったり、友だちが背中を押す存在になったりと、子どもたちに大きな成長が見られています。運動会当日の輝く姿も見ていただきたいですが、それまでの過程にこのような成長がたくさんあったことを心に置いて当日の姿を見ていただけたらと思います。みんな、とってもかっこいいです♡